

輸入検疫で発見された主な病害虫

平成7年に輸入検疫で発見された主な病害虫は下表のとおりである。

近年の海外旅行者の増加に伴い、旅行者の携帯

手荷物(熱帯生果実等)からミバ工類が発見される件数が多い傾向にあり、検疫現場では緊張の日々が続いている状況である。

発見病害虫名	寄主植物別発見回数	輸出国別発見回数
<i>Ceratitis capitata</i> チチュウカイミバエ (7件)	アズキ(1)オレンジ(1)コーヒ-生果実(1)ゴレンシ(1) トウガラシ(1)ナツメヤシ(1)バンジロウ(1)	ブラジル(3)ナイジェリア(1)スペイン(1) エジプト(1)レバノン(1)
<i>Bactrocera dorsalis</i> ミカンコミバエ (190件)	マンゴウ(42)レップ(29)パムレシ(25)バンジロウ(22) リュウガン(12)レシ(10)トウガラシ(10)サント-ル(6) トクパネレシ(4)ナツメ(4)モンピン(4)シナモン(1)他12種(21)	台湾(63)フィリピン(55)タイ(33)ベトナム(12) インドネシア(8)マレーシア(6)ハワイ(2) 香港(1) インド(1)シンガポール(1)スリランカ(1) 不明(7)
<i>Bactrocera cucurbitae</i> ウリミバエ (11件)	ニガウリ(5)ササゲ(2)ウリ科生果実(1)キューリ(1)シゴチョウ薯(1) トマト(1)	台湾(4)タイ(2)フィリピン(2)インド(1) パプアニューギニア(1)ベトナム(1)
<i>Bactrocera tryoni</i> クインスランドミバエ(1件)	リンゴ(1)	オーストラリア(1)
<i>Cydia pomonella</i> コドリシガ (1件)	リンゴ(1)	オーストラリア(1)
<i>Cylas formicarius</i> フリモドキノムシ (4件)	サツマイモ(3)スイートポテツ(1)	インドネシア(1)シンガポール(1)ベトナム(1)タイ(1)
<i>Colletotrichum capsici</i> (10件)	トウガラシ種子(1)トウガラシ生果実(9)	タイ(7)韓国(1)台湾(1)中国(1)
<i>Anastrepha fraterculus</i> ミナミアメリカミバエ(4件)	マンゴウ(1)ゴレンシ(1)ジャボチカバ(1)バンジロウ(1)	ブラジル(3)ペルー(1)
<i>Diabrotica undecimpunctata</i> ジュウイチホシキノリカミムシ(24件)	ミズナ(5)ナシ(4)カラシナ(1)ネウレンソウ(1) 他7種(9)	アメリカ(23)ニュージーランド(1)
<i>Otiorynchus sulcatus</i> キンケキチフトウムシ (1件)	アジサイ苗(1)	オランダ(1)
<i>Pantometus cervinus</i> フラ-バラゾウムシ (11件)	フロチア属切花(6)オレンジ(1)レモン(1) 他4種(4)	ハワイ(7)ニュージーランド(3)アメリカ(1)
<i>Zabrotes subfasciatus</i> ブラジルマダノムシ (17件)	インゲン生果実(7)ベニバナインゲン(5)ライマメ(4)ナカアズキ(1)	メキシコ(10)ブラジル(1)メキシコ(1)
<i>Aleurocanthus woglumi</i> ミカンクワダコナラミ (3件)	インドシユスボク(1)キンマ(1)スワンギ(1)	タイ(2)マレーシア(1)
<i>Dendroctonus ponderosae</i> アメリカマツノキイムシ(1件)	ロウソク-ルイソ(1)	アメリカ(1)
<i>Radopholus similis</i> パナマネズミセンチュウ (1件)	ショウガ(1)	インドネシア(1)

インターネットによる病害虫情報の収集

近年のインターネットの発達に伴い、膨大な量の情報が世界的に利用可能となってきた。インターネットの主な機能としては、通信、ファイルの転送及び電子情報の閲覧等である。インターネット上の電子情報では一連の情報の起点を「ホームページ」と呼んでおり、これらのページ上のキーワードから関係する他のページへと移動していくことができる。また、このようなページ上には文字情報に限らず静止画像や動画が貼り込まれており、多種多様な情報を得ることができる。病害虫に関しても、インターネット上に多くの情報が存在している。米国農務省のホームページにリンクしているBATS (Biological Assessment and Taxonomic Support) からは病害虫に関する法規、病害虫の危険度評価、病害虫の同定に関する情報を入手することができる。NAPIS (National Agricultural Pest Information System) からは米国未発生病害虫のリストや国内発生病害虫のリスト・分布図等を入手することもできる。さらに、AgNIC (Agriculture Network

Information Center) には北米を中心とした農業全般に関するデータベースがあり、病害虫に関する情報についても検索しながら収集することができる。オーストラリアのCSIRO(連邦科学産業研究機構)には、甲虫の幼虫及び被子植物の科までの検索ができるページ等もある。また、FAOにリンクしているPPPIS (Pacific Plant Protection Information System)には、太平洋地域に分布する病害虫とその寄主植物・分布等に関する詳細なデータが納められており、それらを利用することができる。

これらはインターネットを通して入手できる情報のごく一部であり、キーワードの組み合わせを工夫したり検索の方法を変えることによってより的確な情報を効率的に得ることができる。

発行所 横浜植物防疫所
〒231 横浜市中区北仲通5-57 横浜第二合同庁舎 ☎(045)211-7155
発行人 小林 敏 郎
編集責任者 今村 毅
印刷所 内村印刷株式会社